

ミーティングルーム予約システム

ITものづくりプロジェクト「AppLii」

AppLiiでは、クリエにある会議室（ミーティングルーム）の利用をWebから予約できるシステムを開発しています。このシステムにより、事務室に出向いて予約する手間が省けたり予約に関する統計情報を有効活用出来たりするようになると期待されます。

大学が管理するオンプレサーバ上での運用を目指し、フロントエンド、バックエンド、データベース、認証などを自分たちで開発しています。

■ 課題 - 紙での予約管理

クリエにある会議室の利用するためには、事務室に出向いて紙に予約を記入する必要があります。これには煩雑さが伴うほか、予約のし忘れなどにもつながる場合があります。

■ 解決方法・効果と目標

- 解決方法
 - Webから予約できるシステムを開発する
- 効果
 - 予約手続きの易化
 - 統計情報の有効活用
 - 予約忘れの防止
 - AppLiiメンバーのチーム開発経験

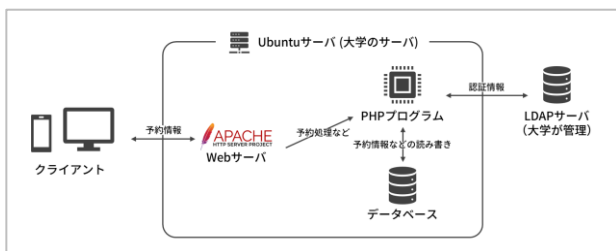
■ 目標

システムとして

- 誰もが使いやすいこと
- 汎用的な設計であること
- 20年の運用に耐えること
- 高い保守性が確保されていること

プロジェクトとして

- 体系的なシステム開発を学ぶ
- チーム開発を経験する
- GitHubによるバージョン管理を学ぶ



開発するシステム概要図

■ これまでの成果

■ データベース

最小・最大予約時間など予約に関する情報を部屋ごとに設定できるようにするなど、柔軟で安全なスキーマ設計を行った。

また、統計情報を正しく記憶しておくために、データベースには過去の予約情報を実際に削除するのではなく、予約が終了したという目印だけを付けるという仕様を採用した。

■ 認証

システムを利用する際には、学生に付与されているアカウントによる認証を必須としている。

学生の認証情報を管理している大学のLDAPサーバを利用してユーザ認証を行う機能を実装した。

■ 利用者用画面

予約の実行や確認が行える利用者用画面を作成した。

予約機能では、カレンダーで予約を取りたい範囲をドラッグすると、自動的に予約情報の入力完了するようになっている。



開発中の画面（PC版ユーザ画面）

■ 年度内の目標

直近としてはシステムに対して正常系テストを実施してバグを最低限にし、2月までに初回のリリースを目指す。

リリース後にはHotjarなどのツールを用いてユーザ体験の調査を行う。調査結果をもとにシステムの改善を行い、4月をめぐに次バージョンのリリースを目指す。